

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	○虐待の防止の徹底 身体的虐待は見られていないが、言葉による精神的虐待になり得る言動や行動が見られる場面がある。	精神的虐待による不適切ケアの排除	①虐待の芽チェックリストを配布し、現状を把握する。(4月配布) ②集計して、ケース会議で対応や声かけ等の注意点を確認し、実施する。職員間で良かった点・悪かった点を振り返る。(5・6月) ③再度、虐待の芽チェックリストを配布する。(7月) ④集計して、ケース会議で評価・振り返りを行い、精神的虐待防止に努める。	5か月
2	34	○急変や事故発生時の備え 急変時や事故発生時の対応について、マニュアルがあるが、職員は実際の対応方法について不安を感じている。	急変時や事故発生時に落ち着いて対応することができる。	①急変時や事故発生時について、不安な点の確認、アンケートを取る。(4月中) ②アンケートに基づいて、対応方法を統一できるよう、職員間でわかりやすいマニュアルを作成する。(5・6月)	3か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 入居様が自由に行動できる環境整備はできているが、職員が無意識にスピーチロックをしている時がある。	スピーチロックがなぜ身体拘束になるのかを全職員が理解し、入居者様の尊厳を守り、目に見えない拘束をなくする。	場面場面に応じたスピーチロックを防ぐ言い換え言葉を作成し、クッション言葉を活用する。チェックシートを利用し、自己の取り組みを振り返り、改善する。	6か月
2	48	○役割、楽しみ事の支援 ケアプランのサービス内容は実施しているが、それ以外での入居者様との関わりが乏しく、役割、楽しみ事の支援ができていないのが現状である。	一人ひとりに合わせた日課(家事活動・余暇活動)を決めて提供し、行うことができる。自力での活動が困難な方は、職員が寄り添って一緒に行う。活動後は労いの言葉をかけ、意欲向上につなげる。	入居者様と職員でやりたい活動、できる活動を決め、毎日行う。役割票を作成し、できたらチェックをして、勤番者全員で支援することで、毎日達成できるようにする。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。